



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 エスポア  
 コード番号 3260 URL <http://www.es-poir.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
 (氏名) 田上 滋  
 (氏名) 寺田 幸生  
 TEL 052-622-2220

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	809	△6.0	102	△2.7	64	1.8	54	274.3
29年2月期第2四半期	861	11.2	104	17.4	63	211.6	14	△23.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	36.33	—
29年2月期第2四半期	9.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	9,800	1,054	10.8	708.78
29年2月期	9,803	1,000	10.2	672.46

(参考)自己資本 30年2月期第2四半期 1,054百万円 29年2月期 1,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 2月期の業績予想(平成29年 3月 1日～平成30年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,620	1.3	179	△2.9	90	△11.9	63	38.6	42.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期2Q	1,524,000 株	29年2月期	1,524,000 株
30年2月期2Q	36,040 株	29年2月期	36,040 株
30年2月期2Q	1,487,960 株	29年2月期2Q	1,487,960 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢の改善が進み、景気は緩やかな回復基調をもって推移いたしました。一方、海外では主に北朝鮮の軍事行動を警戒したアジア諸国や米国の防衛活動が活発化するなど、先行き不安定な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は開発・販売事業として宅地開発1物件の販売活動ならびに賃貸・管理事業として商業施設5物件の事業活動をいたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高809,402千円（前年同期比6.0%減）、営業利益102,169千円（前年同期比2.7%減）、経常利益64,113千円（前年同期比1.8%増）、四半期純利益54,054千円（前年同期比274.3%増）となりました。

セグメント別実績は、次のとおりとなります。

## ① 開発・販売事業

開発・販売事業は、神奈川県横須賀市（1物件）の宅地及び建売販売を行い、宅地3区画を引渡しました。

この結果、売上高は110,264千円（前年同期比24.0%減）となり、セグメント利益は6,549千円（前年同期比648.7%増）となりました。

## ② 賃貸・管理事業

賃貸・管理事業は、北海道内（3物件）、神奈川県横浜市（1物件）及び石川県河北郡（1物件）の商業施設合計5物件の賃貸及び運営管理を行いました。この結果、売上高は699,138千円（前年同期比2.4%減）となり、セグメント利益は172,700千円（前年同期比3.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に対し2,940千円減少の9,800,473千円となりました。これは主に現金及び預金の増加163,048千円、販売用不動産の減少78,042千円及び有形固定資産の減少72,924千円によるものであります。

負債合計は前事業年度末に対し56,994千円減少の8,745,832千円となりました。これは主に借入金の減少によるものであります。

純資産合計は54,054千円増加の1,054,641千円となりました。これは利益剰余金の増加によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に対して113,048千円増加の303,386千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は262,442千円（前年同期は185,774千円の獲得）となりました。これは主に減価償却費91,792千円及びたな卸資産の減少93,750千円によるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は7,836千円（前年同期は141,954千円の獲得）となりました。これは有形固定資産の取得によるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は91,557千円（前年同期は86,581千円の使用）となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月11日に第2四半期累計期間の業績予想の修正を公表いたしました。通期予想については平成29年4月14日に公表いたしました業績予想からの修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	190,338	353,386
売掛金	27,059	29,707
販売用不動産	579,052	501,009
仕掛販売用不動産	19,986	4,278
その他	24,153	22,233
流動資産合計	840,590	910,614
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,643,022	2,568,746
土地	6,310,521	6,310,521
その他（純額）	4,522	5,874
有形固定資産合計	8,958,067	8,885,142
無形固定資産	1,082	1,050
投資その他の資産	3,674	3,665
固定資産合計	8,962,823	8,889,859
資産合計	9,803,414	9,800,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	138,647	141,353
1年内返済予定の関係会社長期借入金	24,000	24,000
その他	152,368	187,856
流動負債合計	315,116	353,309
固定負債		
長期借入金	6,995,792	6,913,528
関係会社長期借入金	896,000	884,000
その他	595,918	594,993
固定負債合計	8,487,710	8,392,522
負債合計	8,802,827	8,745,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	851,800	851,800
資本剰余金	4,800	4,800
利益剰余金	160,510	214,564
自己株式	△16,523	△16,523
株主資本合計	1,000,587	1,054,641
純資産合計	1,000,587	1,054,641
負債純資産合計	9,803,414	9,800,473

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	861,277	809,402
売上原価	670,499	619,157
売上総利益	190,777	190,244
販売費及び一般管理費	85,799	88,075
営業利益	104,977	102,169
営業外収益		
受取保険金	2,862	916
建設協力金精算益	—	3,044
その他	85	19
営業外収益合計	2,948	3,980
営業外費用		
支払利息	44,713	42,037
その他	209	—
営業外費用合計	44,923	42,037
経常利益	63,002	64,113
特別損失		
減損損失	48,440	—
特別損失合計	48,440	—
税引前四半期純利益	14,562	64,113
法人税、住民税及び事業税	185	9,498
法人税等調整額	△64	560
法人税等合計	121	10,059
四半期純利益	14,440	54,054

## （3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	14,562	64,113
減価償却費	92,218	91,792
減損損失	48,440	—
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	44,713	42,037
売上債権の増減額（△は増加）	△8,884	△2,647
たな卸資産の増減額（△は増加）	117,918	93,750
前払費用の増減額（△は増加）	813	647
未払金の増減額（△は減少）	△104,184	1,503
未払費用の増減額（△は減少）	68	△6
未払又は未収消費税等の増減額	23,881	△12,543
前受金の増減額（△は減少）	2,815	5,971
長期預り敷金保証金の増減額（△は減少）	△4,675	16,581
その他	△8,994	△6,198
小計	218,690	294,999
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△34,007	△31,966
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	1,090	△592
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,774	262,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,587	△7,836
有形固定資産の売却による収入	145,500	—
担保預金の預入による支出	—	△50,000
その他	41	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	141,954	△57,836
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	14,904
長期借入金の返済による支出	△84,239	△94,461
関係会社長期借入金の返済による支出	—	△12,000
その他	△2,341	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,581	△91,557
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	241,146	113,048
現金及び現金同等物の期首残高	189,013	190,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	430,160	303,386

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。